

平成11年5月9日

五月の空に澄んだ歌声響いて

「第10回花のガーデンコンサート」開催

本日9日、五月のさわやかな風に新緑が美しい豊島区立雑司が谷旧宣教師館（雑司が谷1-25-5）の庭で「第10回ガーデンコンサート」が開催された。後援：豊島区教育委員会。

このコンサートは、1989年に雑司が谷旧宣教師館が資料館として開館して以来、地域紙「わがまち雑司が谷」を発行している住民グループによる実行委員会の主催で、明治の貴重な洋風建築である旧宣教師館を文化遺産として多くの人に見てもらおうと、毎年5月の第2日曜の母の日に開催している。

「雑司が谷旧宣教師館」は、1907年に米国人宣教師ジョン・ムーディ・マッケレーブ氏が自宅用に建築した木造2階建ての洋館で、19世紀後半のアメリカの郊外住宅を模したコロニアル様式といわれ、都内でも貴重な洋風建築のひとつであり、1992年に区の指定文化財に、また今年2月には都の有形文化財に指定された。

1892年に布教活動のため来日したマッケレーブ宣教師は、日本の若者たちの理想郷として、雑司が谷の地に雑司が谷学院、日曜学校、幼稚園などを開校、太平洋戦争により帰国を余儀なくされるまでの35年間に英語教育・幼児教育に尽力し、その教え子は1千人を超えるといわれる。今回のコンサート主催者代表の前島郁子さんも、かつて雑司が谷幼稚園でその教えにあずかったひとりである。終戦後、宣教師館は民間会社の事務所など変転を重ね、1982年に建物を取り壊してマンションを建設する計画が持ち上がった際、前島さんら区民は思い出深い宣教師館の保存運動に立ち上がり、同年に区が館を取得、補修して現在の資料館として1989年に一般公開されるにいたった。そうした経緯を記念し、また広く人々に宣教師館を知ってもらおうと、その庭で毎年コンサートを開催、開館10周年の今年、ガーデンコンサートも記念すべき第10回を迎えた。

さわやかな五月の風に新緑がゆれ、初夏の花々が彩る庭に約200人の聴衆が集い、午後2時よりコンサートは開始された。オープニングは子供コーラス…母の日にちなみ「メリーポピンズ」の曲を「お母様に感謝をこめて」かわいらしい声で歌った。続いての女声コーラスも「オズの魔法使い」「天使にラブソングを」とミュージカル挿入歌で楽しいムードを盛り上げた。コーラス指導の中島郁さんは、現在芸大大学院生でこのコンサートの第1回目に、中学生として子供コーラスに参加したキャリアを持つ。この後、ハーモニカ演奏、ヴァイオリン独奏と続き、中島さんたちによるオペラのアリア、二重唱とコンサートは最高潮に。そして最後に、第10回のガーデンコンサートを祝して参加者全員が合唱した。

旧宣教師館の庭に歌声があふれ、聴衆の拍手が青空にこだましていた。

問い合わせ：前島郁子さん（地域紙「わがまち雑司が谷」発行者）